

民音創立55周年記念

世界のダンス～パパイヤ鈴木スペシャル・ステージ！

# コートジボワール カストゥリ

“熱い”ダンス・コラボとアフリカンドラムの響き



パパイヤ鈴木

Q-TARO  
(電撃チョモランマ隊)

泰智  
(KoRock)

ニヤマ・カンテ

予定曲目 | アドワ、ロコレ、ジバタキ、ザウリ、他

～ダンス・コラボ・ステージもお楽しみに！～

公演日程 [2018年]

11月5日(月) 6:30p.m. わくわくホリデーホール(札幌市民ホール)

min-on

入場料金: S席¥6,000 A席¥5,500(会員料金: S席¥5,000 A席¥4,500)〈税込〉

お問い合わせ: MIN-ON札幌 ☎011(642)5601

チケットのお求めは: チケットぴあ(セブン-イレブン) [Pコード:488-643] 札幌: 大丸プレイガイド ☎011(221)3900

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

主催: MIN-ON 後援: 駐日コートジボワール共和国大使館 制作協力: プランチャイム



## コートジボワールの人と音楽

コートジボワールは、西アフリカの交差点だ。

アフリカ大陸は多民族の世界。コートジボワールには系統を異にする約60の民族が居住している。民族は独自の文化の担い手である。つまり、コートジボワールは豊かな民族文化に彩られた国なのだ。

アビジャンはコートジボワール最大の都市であり、西アフリカ経済の中心都市でもある。金のあるところ、人が集まる。国内各地から集まった人びとは故郷の文化を持ちこみ、ローカル色豊かな生活文化が自己主張をはじめ。それだけではない。コートジボワールはカカオの生産高世界一、コーヒーの生産高はアフリカで一番。その経済力に引きつけられて近隣諸国からの出稼ぎ民が流入し、彼らの「お国」文化が持ちこまれた。こうして国内・国外の人と文化の<sup>あつぽ</sup>垣塙と化したアビジャンは、まさにメトロポリタンとして発展していった。

経済の中心地アビジャンでは、マスメディアの発達もはやかった。ショウビジネスが誕生し、マスメディアを通して欧米の情報も流入し、やがて音楽とダンスを中心に独自

の都市文化が発達していった。

アフリカでは音楽が生活に根づいており、祭り、農作業、遊び、スポーツと、さまざまな場面で音楽が奏でられ、ダンスが重要な自己表現の手段となっている。ある者は村の伝統音楽をエレクトリ化してポップにし、ある者は欧米のポップスとアフリカのリズムやダンスをミックスし、またある者はアビジャンのストリート文化とレゲエやラップを組み合わせて、独自のコートジボワール音楽をつくりあげてきた。

またダンスも、国内各地の伝統ダンス、アフリカ諸国のオシャレなダンス、ディスコからヒップホップにいたるまでのアメリカ発の最新のダンス、ヨーロッパのクラブ・ダンスなどを貪欲にとりこみながら、毎年流行のダンスが生みだされ、アビジャンっ子を楽しませている。

国内・国外のさまざまな民族文化が交わり、伝統文化と現代文化が会合「交差点」=コートジボワールにおいて、あたらしい文化がダイナミックに生みだされている。

文：鈴木 裕之〔国士舘大学教授／文化人類学／アフリカ音楽研究〕

### KASSOU-TRI カストゥリ (ダンス、太鼓/8名)

コートジボワールのINSAAC(国立高等芸術文化学院)に所属する芸術グループ。グループ名のカストゥリとは「明日のため、未来のため」を意味している。INSAACで専門教育を受けた若きアーティスト達で、これまでアフリカ各国をはじめヨーロッパでも公演活動を行っている。

カストゥリと僕たち日本のダンサーが熱い熱いダンス・コラボをお届けします。ダンスの魅力存分に楽しんで頂きます。皆さん是非会場でお会いしましょう！

### パパイヤ鈴木 (振付師)

東京都出身、幼少の頃より父親のラテン音楽を聴き、越路吹雪を唄う！山本リンダを真似れば心ここにあらず、気がつけば踊っていた！ダンスを中心とした活動の中で、1998年に「パパイヤ鈴木とおやじダンサーズ」を結成。今年結成20周年を迎え記念ライブが大盛況で終わる。NHK大河ドラマ「天地人」出演をきっかけにダイエットに成功し、著書「デブでした。」が大ヒット。AKB48『恋するフォーチュンクッキー』の振り付けは社会現象化し、ネット映像に新ブームが起こる。歌、踊り、演技のみならず、作曲、アレンジ、プロデュース、健康ソムリエ…とマルチな才能を発揮し、幅広い分野で活躍している。



### Nyama Kante ニヤマ・カンテ (歌)

これまでアビジャンのミュージカル劇団「コテバ」の主要メンバー、およびコーラスグループ「レ・ゴドゥ・コテバ」のメンバーとして活躍し、アフリカ、欧米など世界各国で公演を行った。日本においては、「アフリカン・フェスタ」、「アフリカン・フェア」、「アフリカンフェスティバルよこはま」など多数のフェスティバルに出演。2009年と2010年には、日本人アーティストとのコンサートをアビジャンで開催。



### Q-TARO 「電撃チョモランマ隊」 (ダンサー)

日本映画大学俳優科卒業。電撃チョモランマ隊リーダー。NHK連続テレビ小説「瞳」にモボ役として出演。ドラマ「のだめカンタービレ」や「くまモンうまかモン」、CM「Y!mobile」の振付など多数手がける。笑いの要素を融合させた「ダンスコント」で、新境地を開いた。



### 泰智「KoRoK」 (ダンサー)

ストリートダンス番組「スーパーチャンブル」に出演し、第2代殿堂入りダンサーの称号を得る。GATSBY STYLING DANCE CONTESTでは日本大会アジア大会ともに優勝。常に新しい情報を自分のスタイルに取り入れ、アーティストの楽曲PVやステージの振付に生かしている。



### ENcounter ENgravers feat. jyunki

エンカウンター エングレイバーズ

東京を中心に全国100名を超えるメンバーを持つHIPHOP CREW。日本最大の振付ダンスコンテストで優勝など数々の受賞歴、様々なイベント出演など多岐にわたる活動で勢力拡大中。